

令和 6 年度市政モニター会議 水戸市の概要について

令和 6 年 4 月 2 5 日（木）

市長公室政策企画課

目 次

1 水戸市のあゆみ

・・・水戸のまちづくりの歴史について

2 水戸市の人口

・・・人口の推移と少子化，高齢化について

3 人口減少社会を迎えての取組

・・・最近（10年程度）の取組について

4 総合計画～水戸市第7次総合計画～

・・・これからの水戸市の方針について

1 水戸市のあゆみ

○水戸徳川家

尾張，紀伊とともに御三家と呼ばれ，格別の待遇を受けた。

・初代藩主(1609～1661) 徳川頼房公(徳川家康公の11男)

水戸の城下町の大改修

→ 現代に続くまちの形成，備前堀の整備

・第2代藩主(1661～1700) 徳川光圀公(水戸黄門様)

笠原水道の開設，大日本史の編さん，学問の奨励

→ 日本の学問・教育の発展に寄与

・第9代藩主(1829～1860) 徳川斉昭公(第15代将軍 慶喜公の父)

「一張一弛」の考えの下，弘道館・偕楽園の開設

→ 近代思想

1 水戸市のあゆみ

○市制施行

明治22年4月1日、横浜市などの30市とともに、日本で初めて「市」となった。

面積 6.17km²

人口 25,591人



2024(令和6)年度
市制施行135周年

明治23年の市役所庁舎

1 水戸市のあゆみ

○市町村合併

・昭和の大合併

昭和30年から33年にかけて, 近隣の村と合併

面積 146.02km² 人口 132,944人

・平成4年 常澄村との合併

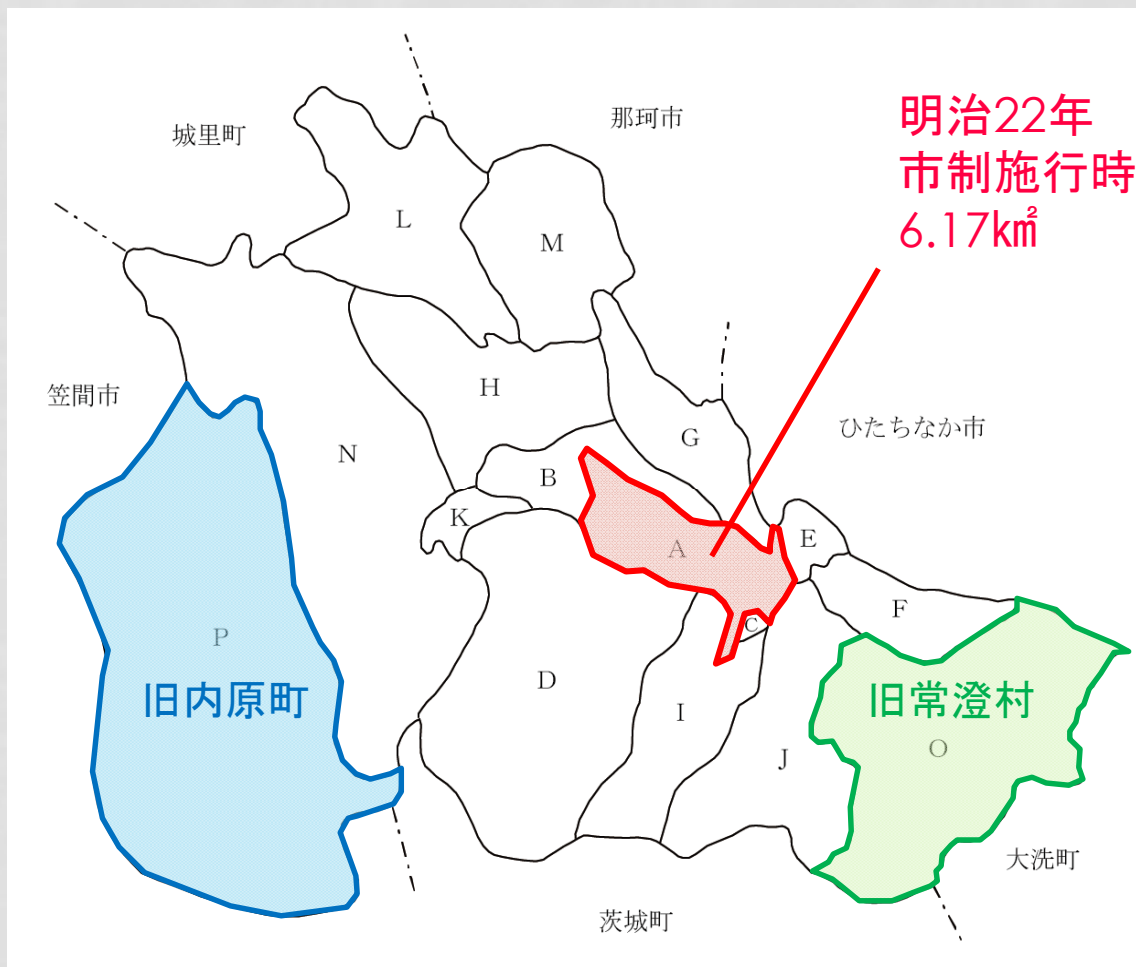
面積 175.90km² 人口 246,600人

・平成17年 内原町との合併

面積 217.45km² 人口 262,603人

1 水戸市のあゆみ

○市域の変遷



1 水戸市のあゆみ

【中核市 水戸】

令和2年4月に水戸市が茨城県内では初の中核市となる。

中核市移行で見込まれる市民サービスの向上

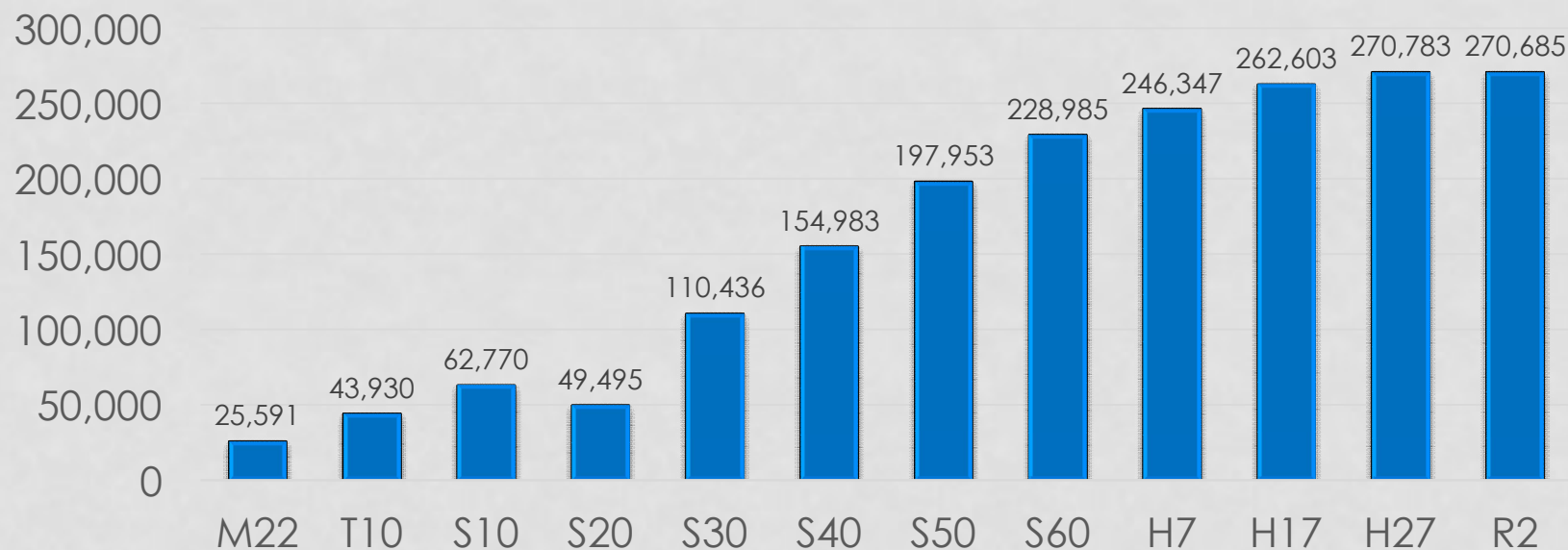
- 1 特色ある施策の展開
- 2 健康危機への迅速な対応
- 3 窓口の一元化
- 4 事務処理の効率化

保健衛生分野を中心に
約2,600項目の事務を
県に代わって行う

2 水戸市の人口

○総人口の推移

水戸市の総人口は、増加から横ばい状態となっている。
国勢調査で見ると、令和2年に減少に転じた。



2 水戸市の人口

○人口構成の変化

少子化, 高齢化の進行。

高齢化率は26%超。4人に1人が高齢者(超高齢社会)。

■ 高齢者人口 ■ 生産年齢人口 ■ 年少人口

年少人口(0～14歳)

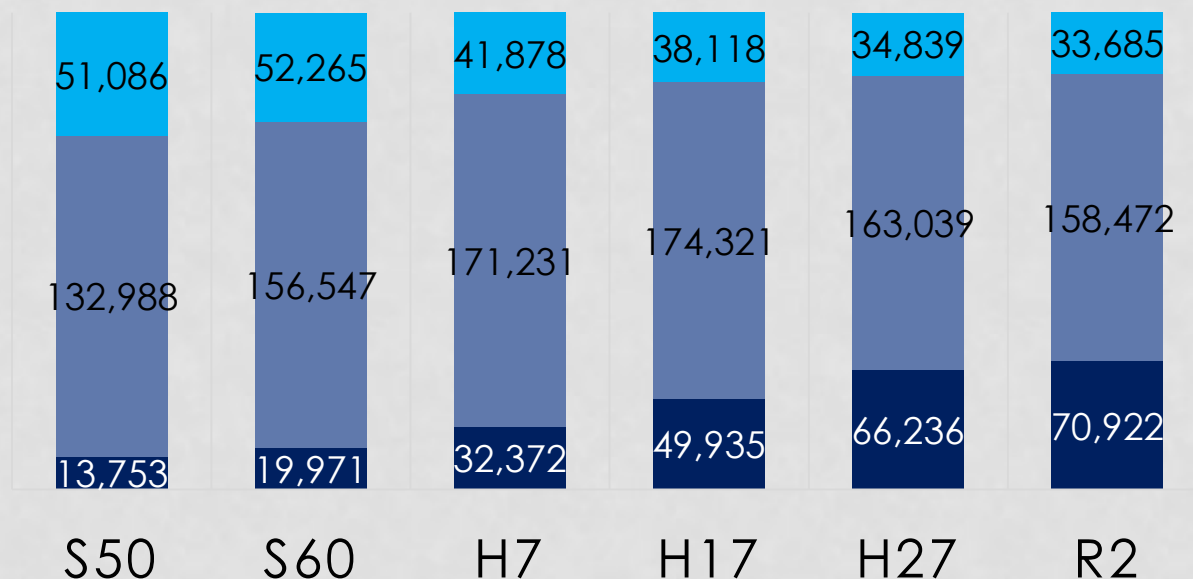
生産年齢人口

(15～64歳)

⇒ 減少傾向

高齢者人口(65歳以上)

⇒ 増加傾向



2 水戸市の人口

○人口の特徴（人口集積率）

水戸市の人口 270,685人（令和2年）

茨城県の人口 2,867,009人（令和2年）

本市の人口集積率は約9.4%で、県庁所在都市としては、**全国で最も低い**。

茨城県は平地が多く、可住面積が広いため、人口が分散しやすい。

【参考】令和2年国勢調査

日立市	174,508人	(人口集積率約6.1%)
土浦市	142,074人	(" 約5.0%)
つくば市	241,656人	(" 約8.4%)

2 水戸市の人口

○人口の特徴(昼間人口／夜間人口)

昼間人口 297,839人 (令和2年)

本市の昼夜間人口比率は約109.2%で、県庁所在都市としては、**全国で6番目に高い**水準。

- ・通勤・通学により、昼間の流入人口が多い。
- ・本市の**拠点性・中枢性の高さ**を示している。

昼間人口(297,839人)

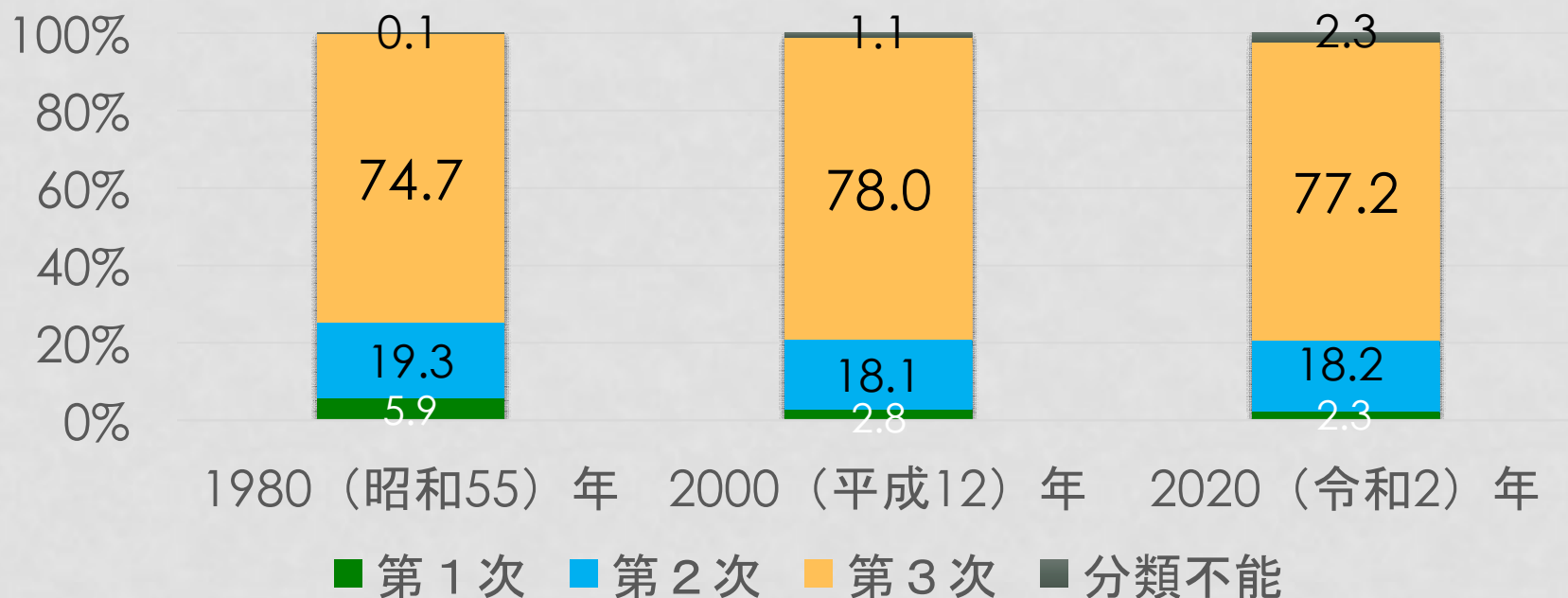
＝夜間人口(常住人口)－ 流出人口 ＋ 流入人口
(270,685人) (43,488人) (70,642人)

流入超過人口 27,154人

2 水戸市の人口

○産業別就業者人口の割合

農業を中心とする第1次産業は年々減少を続けている一方で、商業・サービス業を中心とする第3次産業は増加を続けている。本市の第3次産業に集中した産業特性が顕著になっている。



2 水戸市の人口

○人口減少，高齢化による問題

1 地域生活への影響

- (1) 商業施設，医療施設，公共交通の縮小
- (2) 地域コミュニティの衰退

2 地域経済への影響

- (1) 個人消費の縮小
- (2) 労働力の低下

3 行政への影響

- (1) 市税収入の減少
- (2) 社会保障費の増加
- (3) 行政サービスの低下

様々な選択肢から
選ばれるまち

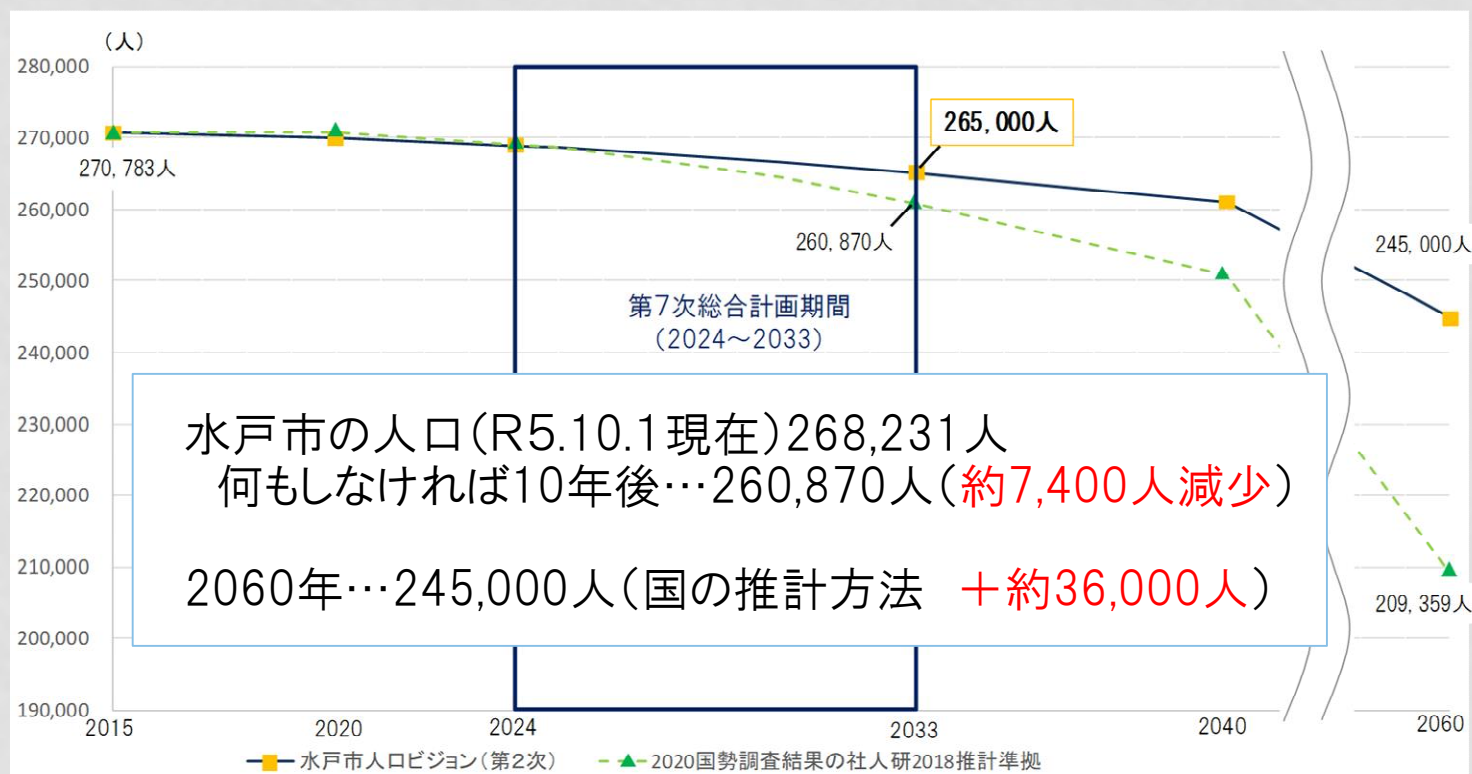
将来にわたって発展し，
暮らしたいと思えるまち

2 水戸市の人口

○人口の目標(第7次総合計画, まち・ひと・しごと創生総合戦略)

2033年度…265,000人

2060年度…245,000人



3 人口減少社会を迎えての取組

○安心してこどもを生み育てることのできる環境づくり

・子育て支援の充実(保育所整備)

保育所待機児童問題への対応として、市立、私立保育所等の整備を進め、平成23年以降、保育所等の定員数は、約3,300人増加している。



待機児童数は1人まで減少
(令和5年4月)

※ピークは平成27年4月の158人

白梅保育所



3 人口減少社会を迎えての取組

○安心してこどもを生み育てることのできる環境づくり

・子育て支援の充実(放課後児童対策)

小学生の放課後や夏休み等における
居場所づくりを進めている。



小学校6年生までの
希望者全員の受け入れ
(2020年度)



放課後学級の様子

3 人口減少社会を迎えての取組

○安心してこどもを生み育てることのできる環境づくり

・教育の充実

【水戸スタイルの教育】

チャレンジプラン(学力向上)

グローバルプラン(英会話力教育, 情報教育)

キャリアプラン(郷土教育, 芸術教育, 体験学習)

ふれあいプラン(いじめ解決)



小学校の授業風景

3 人口減少社会を迎えての取組

○地域経済の活性化

- ・企業誘致の推進，創業支援の充実
企業や事業所の誘致，多様な雇用の場を創出
創業希望者に対して創業前後における支援を行う。



コワーキングスペース 水戸
Wagtail(ワグテイル)

3 人口減少社会を迎えての取組

○地域経済の活性化

・観光の振興

世界に誇れる偕楽園公園や弘道館など、水戸の持つ観光資源を磨き上げ、魅力を高めながら、様々なイベント等を開催し、交流人口を増やす。



弘道館

3 人口減少社会を迎えての取組

- 地域経済の活性化
- ・新市民会館の整備



2023年7月開館

総事業費 195.2億円

2,000人を収容できる
大ホール等を整備。
3,000人規模のイベントの
開催が可能。

3 人口減少社会を迎えての取組

○地域経済の活性化

- ・東町運動公園新体育館(アダストリア みと アリーナ)



完成年度 2019年度
総事業費 95.7億円

5,000人を収容できる
メインアリーナ等を整備。
2019年の国体会場として
使用された。

(レスリング, フェンシング)

3 人口減少社会を迎えての取組

○移住・定住の促進

人口流出の抑制，流入の増加に向け，ホームページ等を活用し，移住に関心のある方に対して本市の魅力を発信するとともに，地方移住への関心の高まりを捉えた施策を推進するなど，移住・定住の促進を図る。

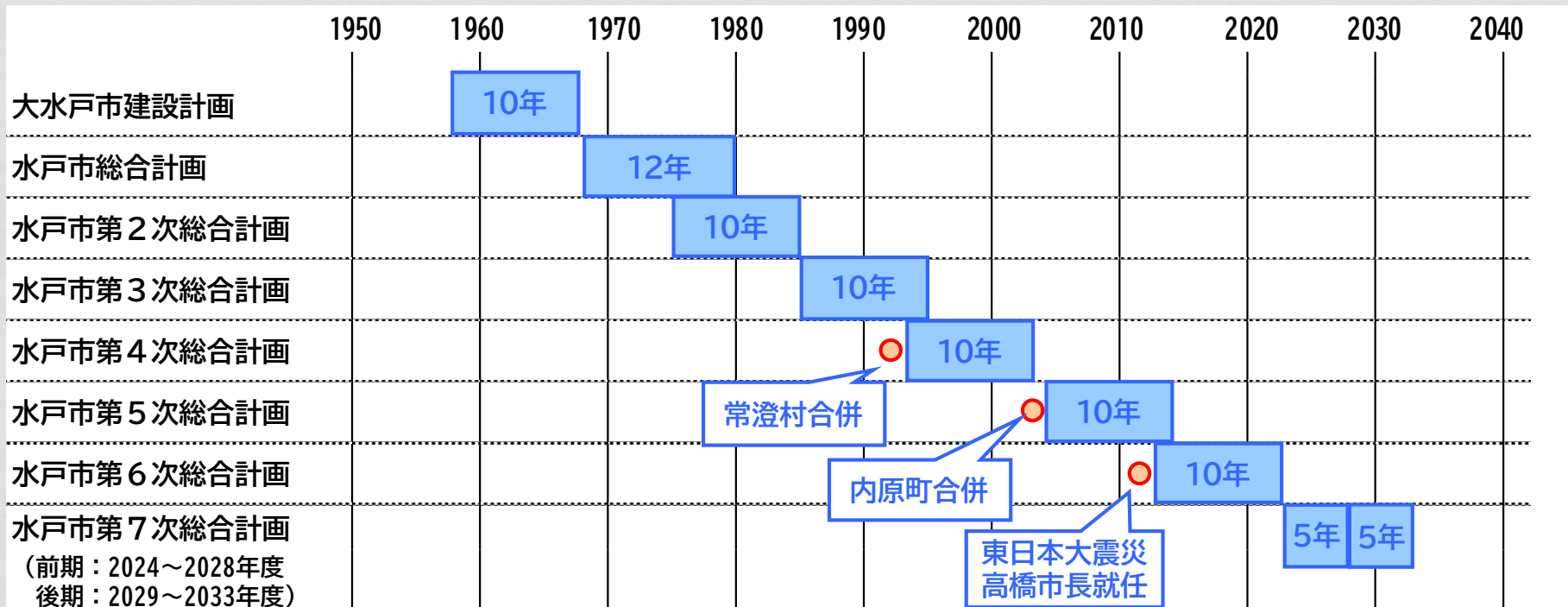
**まちといなか いいとこどり
アリかも！水戸暮らし**

本市の移住促進に向けたキャッチコピー

4 総合計画 ～水戸市第7次総合計画～

○総合計画とは

都市づくりの基本方針であり、**水戸市における最上位計画**



4 総合計画 ～水戸市第7次総合計画～

○水戸市第7次総合計画(令和6年度～令和15年度)
前計画である第6次総合計画の期間満了にあわせ策定

反映

市民意向

- ・ 市民1万人アンケート
- ・ 大学生の考えるまちづくり
- ・ 市民討議会
- ・ 市民懇談会



反映

第6次総合計画の実績・課題
(評価)

反映

水戸市の特性

- ・ 歴史、文化
- ・ 産業
- ・ 拠点性



反映

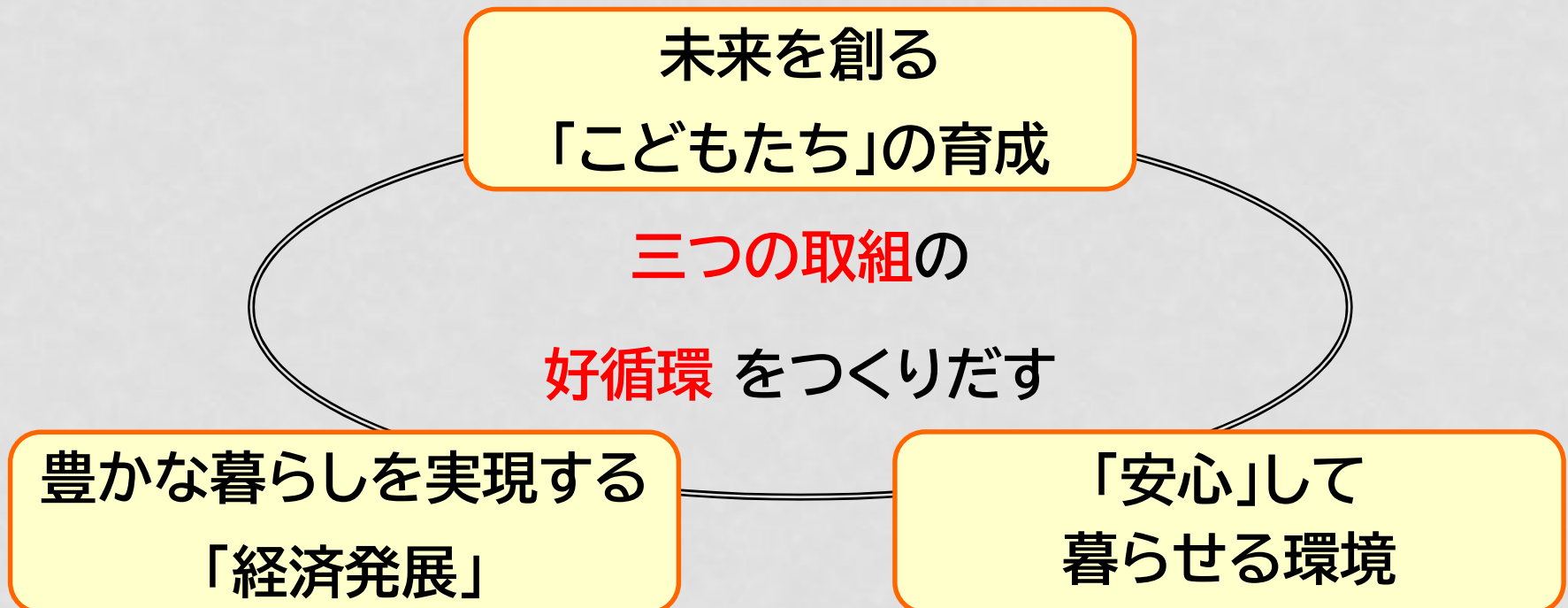
時代の潮流、課題

- ・ 人口減少, 少子高齢化, S D G s
デジタル化, カーボンニュートラル

4 総合計画 ～水戸市第7次総合計画～

○水戸市第7次総合計画（都市づくりの基本的な考え方）

将来にわたって発展し、暮らしたいと思える都市



4 総合計画 ～水戸市第7次総合計画～

○水戸市第7次総合計画(三つの基本理念)

**水戸の未来をリードする
「こどもたち」を育むまちをつくる**

[目指すべき都市づくりの方向]

人口減少が避けられない中，本市の活力を維持し，持続的に発展するまちを実現するため，水戸の未来をリードするこどもたちをまち全体で育み，若い世代に選ばれるまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・ 全国に魅ける安心してこどもを生み育てやすい環境づくり
- ・ 教育機関が集積する強みを生かした水戸ならではの魅力ある教育の推進

4 総合計画 ～水戸市第7次総合計画～

○水戸市第7次総合計画(三つの基本理念)

**市民の豊かな暮らしを実現できる
「経済発展」するまちをつくる**

[目指すべき都市づくりの方向]

地域の資源や特性を生かし、持続的な都市の成長、市民の豊かな暮らしを実現できる経済が発展する先進的なまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・水戸ならではの歴史、芸術・文化を生かした、にぎわいづくり・産業振興、働く場の創出
- ・陸・海・空のネットワークを生かした手軽に移動でき、活動しやすい環境による産業振興

4 総合計画 ～水戸市第7次総合計画～

○水戸市第7次総合計画(三つの基本理念)

**誰もが生き生きと暮らせる
「安心」できるまちをつくる**

[目指すべき都市づくりの方向]

誰もが生き生きと暮らすことのできるよう、**安心を実感**できるまちを目指します。

[個性と魅力を伸ばす取組の方向]

- ・ 健康づくり，医療，福祉などの充実
- ・ 災害に強い地域環境づくり
- ・ ゼロカーボンに取り組む環境づくり
- ・ 誰もがデジタル化の恩恵を享受できる環境づくり

4 総合計画 ～水戸市第7次総合計画～

○水戸市第7次総合計画(将来都市像)

基本理念を踏まえた水戸市の目指す将来都市像

(将来の都市イメージ)

こども育む くらし楽しむ

みらいに躍動する 魁のまち・水戸

4 総合計画

～水戸市第7次総合計画～

○水戸市第7次総合計画(前期基本計画)

将来都市像の実現に向けた具体的施策を位置付け
令和6年度～令和10年度までの5か年の計画

【重点プロジェクト】

Mission1 みとっこ未来プロジェクト

Mission2 若い世代の移住・定住加速プロジェクト

【施策の大綱】

- 1 まち全体で「こどもたち」を育むみと
- 2 多くの人が集い、産業が集積する「活力あるみと」
- 3 命と健康, 暮らしを守る「安全・安心なみと」
- 4 市民と行政で「共に創るみと」

4 総合計画 ～水戸市第7次総合計画～

○水戸市第7次総合計画(重点プロジェクト)

横断的な推進体制のもとで、**優先的かつ集中的**に取り組む

Mission1

みとっこ未来プロジェクト

【戦略的な取組】

- ・経済的負担の軽減
(保育料, 給食費)
- ・相談・支援の充実
(寄り添い支援)
- ・こどもが活動しやすい環境づくり
(体験, 主体性)

Mission2

若い世代の移住・定住加速プロジェクト

【戦略的な取組】

- ・若い世代が魅力を感じる多様な
働く場の創出
(創業支援, 企業誘致)
- ・若い世代に届くシティプロモーション
の充実
(情報発信, 移住体験)